

宮城県南三陸町に贈るヌビアンヤギ
と新城将秀代表(右)、平田哲兵さん
＝9日、中城村



ヤギで笑顔取り戻して

読んで
温かい
NIE

ヤギと触れ合うこは9月、国内で十数頭しかい
とで、被災地の子ど ないときされるヌビアンヤギ2匹
もたちの笑顔を取り を宮城県南三陸町に贈る。
戻そうと、中城村北上原のは 同町の小学校教諭で祖父が
ごろも牧場(新城将秀代表) 宮古島市出身の仲松晃さん

はごろも牧場
(中城)

南三陸町に貴重種贈る

(38)が今年6月、「被災した子どもたちを元気づけるためヌビアンヤギを譲ってほしい」と相談。「仲松先生の深い情熱に心を動かされた」という新城代表は申し出を快諾した。ヌビアンヤギは耳がたれ、愛くるしい表情が特徴。国内では、同牧場のほかに鹿児島大学など数カ所で飼育されている貴重種だ。

宮城までの輸送は長年ヤギの研究をしている琉球大学の平田哲兵さん(32)が奔走し、全日空(ANA)が無償で引き受けてくれることになった。

日時は9月上旬を見込んでいた。新城代表は「ふさぎ込んだ子どもたちの笑顔を取り戻すことができればうれしい」と話した。

(氏家清志)